

第6回 振り返りと 持続可能な社会のための討議

1. 振り返り(40分)
2. 討議(50分)
3. ミニ講義や質疑(時間があれば)

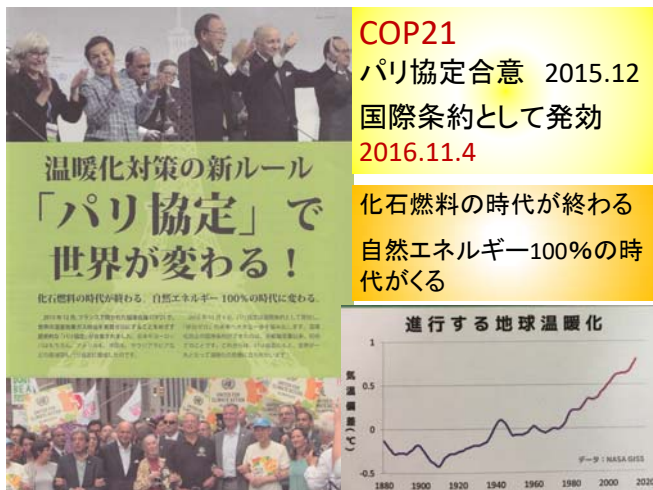
1

1. 振り返り(40分)

方法

- ① 一番気に入ったテーマについてメモする(10分)
- ② 同じテーマの人と対話する(5分)
- ③ 4人で話す(15分)
- ④ メッセージの発信(各テーマ3分)
 - ・ ③で一番盛り上がったことを代表者が全員に話す

2



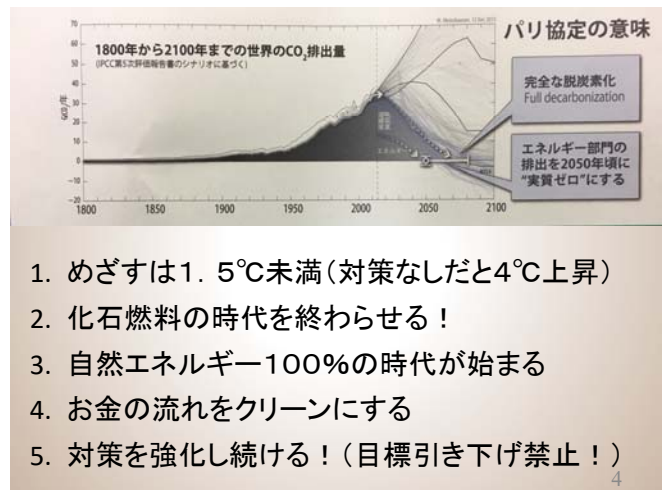
COP21
パリ協定合意 2015.12
国際条約として発効
2016.11.4

温暖化対策の新ルール
「パリ協定」で
世界が変わる！

化石燃料の時代が終わる
自然エネルギー100%の時代がくる

進行する地球温暖化

データ: NASA GISS



1800年から2100年までの世界のCO₂排出量
(IPCC第5次評価報告書のシナリオに基づく)

パリ協定の意味

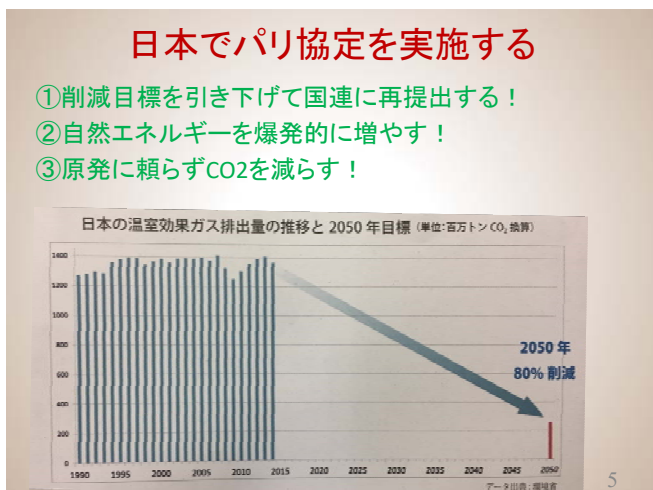
- 完全な脱炭素化
Full decarbonization
- エネルギー部門の排出を2050年頃に
"実質ゼロ"にする

1. めざすは1.5℃未満(対策なしだと4℃上昇)
2. 化石燃料の時代を終わらせる！
3. 自然エネルギー100%の時代が始まる
4. お金の流れをクリーンにする
5. 対策を強化し続ける！(目標引き下げ禁止！)

データ出典: REN21

日本でパリ協定を実施する

- ①削減目標を引き下げて国連に再提出する！
- ②自然エネルギーを爆発的に増やす！
- ③原発に頼らずCO₂を減らす！




日本の温室効果ガス排出量の推移と2050年目標 (単位: 百万トンCO₂換算)

2050年
80%削減

データ出典: 環境省

発電量に占める 自然エネルギーの電力割合(%)



国	自然エネルギーの電力割合(%)
コスタリカ	100
オーストリア	70
スウェーデン	60
ポルトガル	50
デンマーク	40
スペイン	30
イタリア	20
ドイツ	15
イギリス	10
日本	5

2014

データ出典: REN21



化石燃料の採掘
(使用)上限設定！

化石燃料がなければ

エネルギーも、食料
もない世界・・・

持続不能の
社会が到来する

7

2. 持続可能な社会のための討議(50分)

テーマ

- a. エネルギーの地産地消
- b. 持続可能なまち

8

2. 持続可能な社会のための討議(50分)

方法

- ① 同じテーマで対話する 10分
- ② 4人で話す 20分
- ③ メッセージの発信と質疑(各テーマ10分)

9



持続可能な社会とは

将来世代のニーズを満たす地球の能力を損なうことなく現代世代のニーズを満たす社会

健全で恵み豊かな環境が地球規模から身近な地域まで保全されるとともに、それらを通じて世界各国の人々が幸せを実感できる生活を享受でき、将来世代にも継承することができる社会(21世紀環境立国戦略)

11

なぜ持続不能になったか！

- 先進国で経済(モノ・効率)優先の価値観が浸透
- 人・モノ・情報の流通革命(グローバル社会の到来)
- 人口爆発と都市への人口移動
- 途上国の急激な近代化と環境破壊

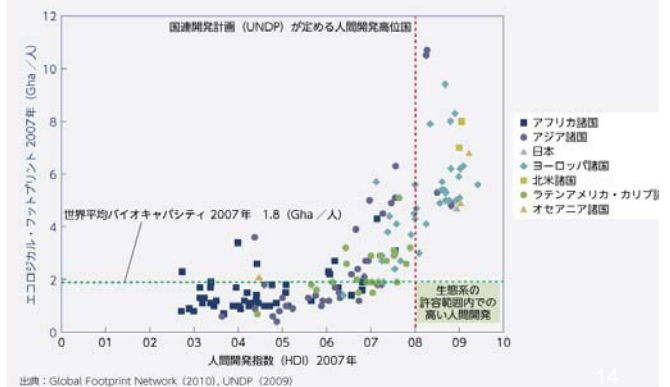
12

エコロジカル・フットプリント(EF)

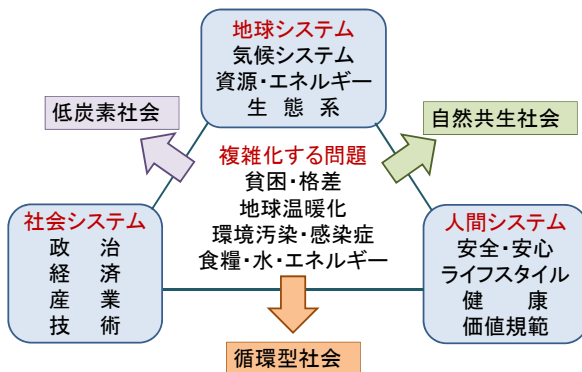
	公平に分割すると	日本人	米国人
EF (gha/人)	1.3	4.4	9.6
世界中が〇〇人レベルの生活をすると必要な地球(個)	1	2.4	5.3

- 2003年の値 中国1.6 インド0.8 ブラジル2.1 独4.5 英仏5.6
- 1961→2003で9倍以上(生産力向上考慮)
- 世界平均 1975=1.3Gha/人(地球1) 2007=1.8Gha/人(地球1.4)

エコロジカル・フットプリントからみる環境と社会の関係



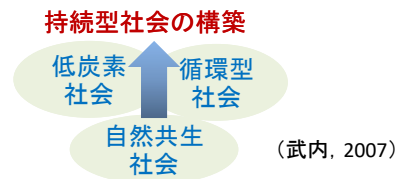
地球・社会・人間システムを回復する 3つの社会



小宮山宏(2011):「サステイナビリティ学の創成」より

15

3つの社会を同時に実現する！ 自然科学と人文社会科学を融合させた俯瞰型学術体系



3社会像の統合手段

- 都市と農村を結ぶ循環型都市
- 世界各地で拠点形成を図り、グローバルなネットワークを形成
- 地球持続性と地域の自然的・文化的多様性を確保

小宮山宏他編(2011):「サステイナビリティ学(全5巻)東大出版会」より

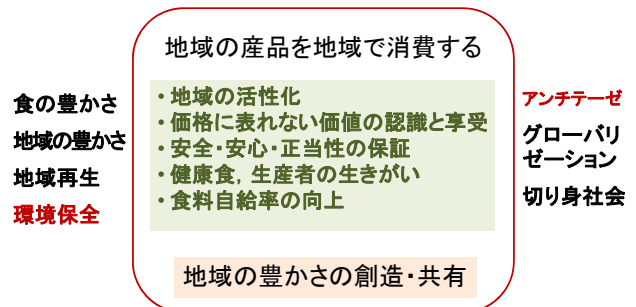
16

都市と農村の交流

- 交流事業
 - 文化活動やツーリズムを媒介として地域産業関連づくりに向かう。これが創造農村の源流となり、内発的発展を実現する
- 相互に刺激
 - ツーリズムが創造的人材を刺激し、また生業を可能にする。
 - 訪問者は自然、アート、食材等で物心の満足を得る
- 創造都市田園ネットワーク

17

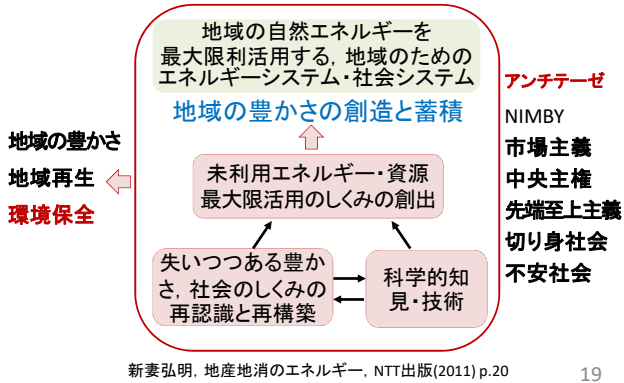
食の地産地消



新妻弘明(2011)p.21

18

エネルギーの地産地消



19



20



21

ボルネオ自然ロッジ

Sources of Power and Water

- Water for toilets – rainwater harvesting
- Water for shower and washing – treated river water
- Water for drinking – treated well water
- Electricity (day) – generator set
- Electricity (night) – solar powered
- Walkway lighting – oil lamps

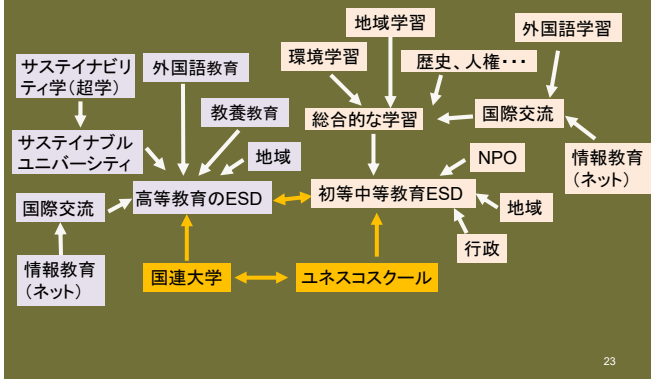
- トイレの水→ 雨水
- 飲料水→ 井戸水を処理
- 洗面, シャワー, 洗濯等水→ 川の水を処理

- 電気(昼間): エアコンを適正利用し余剰電力を, 川水のポンプアップ, 水やコンポスト処理に利用
- 電気(夜間): 太陽光(蓄電) + 人力発電(自転車)を室内の明かり, 野生像を防御する電柵
- 夜間の外灯は, ヤシ油

- コンポスト→ 糞尿や食物残差
- 食材, 工芸品等→ 地産地消
- 移動→ ハイブリッド船(川や大気に優しい)

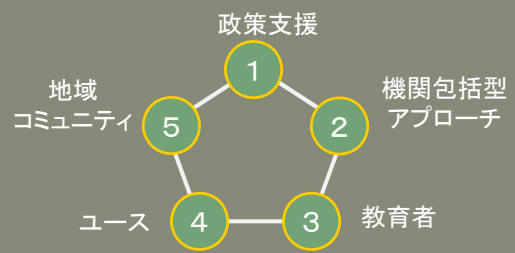
22

分野, 機関を繋げる



23

GAP(2015~): Global Action Program



24

持続可能な社会にするには！

1. 価値観の転換する
 - 脱経済、脱成長、成熟社会の価値観
2. 未来を見つめること
 - 枯渇資源から脱却して地域資源を活かす
3. 行政まかせ、補助金頼みをやめる
 - 地域の文化、民衆の智慧、アートや女性の力

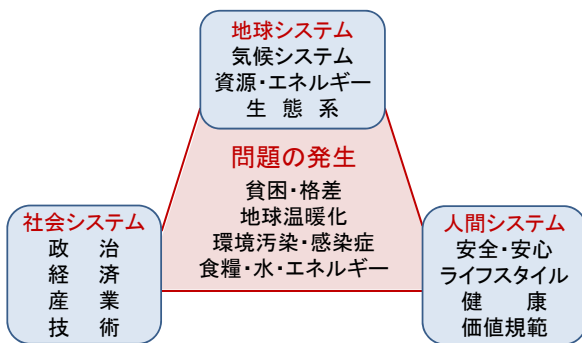
25

学者も考えている サステナビリティ学によると



26

3つのシステムの崩壊



小宮山宏(2011):「サステナビリティ学の創成」より

27

動き出した創造都市

- 創造都市
 - 文化資本の活用や創造的人材の誘致による再生
- ライフスタイルの創出と産業・雇用の創出
 - 地域独自の資源とアートやデザインの創造性を生かして新しい産業やライフスタイルの創出によって雇用を生み出し、衰退地区の再生を目指す
- 創造都市ネットワーク(金沢、横浜、神戸)
 - アーティストやデザイナー、文化団体、企業、大学、住民の連携による創造都市政策を推進

28

創造農村の芽生え

- 創造農村
 - 豊かな自然生態系を保存、その中で固有の文化を育み、自立的循環的な地域経済をそなえた、創造的問題解決を行える創造の場に富んだ農村
- 芸術活動による、農山村の景観や伝統文化がもつ本物の固有価値の再発見・再認識
 - アーティストの創作活動や知識情報産業で働く人々を刺激
 - 住民や訪問者には、経済的価値や社会的価値を生む好循環をもたらす

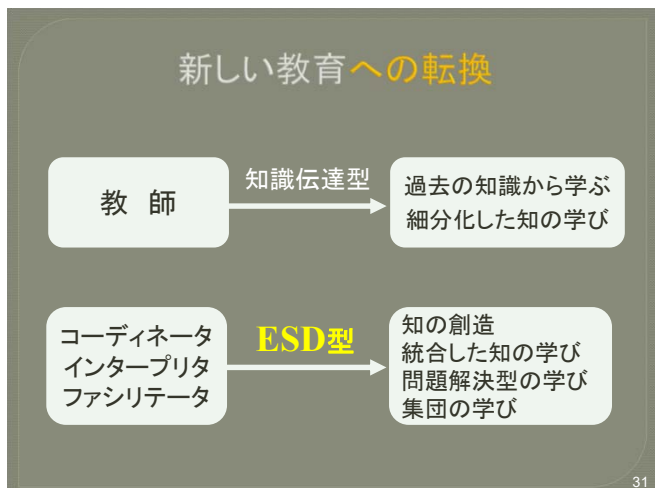
29

ESDの「つなぐ」

- カリキュラムをつなぐ
- 人をつなぐ
- 組織をつなぐ

国立教育政策研究所 ESD研究最終報告2012

30



ESDの構成概念

視点 上位概念	①多種多様な要素からなる視点	②互いに作用し合う視点	③ある方向へ変化している視点
[1]人を取り巻く環境に関する概念	多様性	相互性	有限性
[2]人の意思や行動に関する概念	公平性	連携性	責任性